

授業改善等に関する報告書（2021 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（前期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
栄養教育論実習 a	辛島順子	<p>「栄養教育論実習a」では、2年次前期で学んだ行動科学理論やカウンセリングを実際の栄養教育現場で活用するための実習を行いました。対面の実習は感染予防対策のためグループワークへの配慮等が必要となりましたが、みなさんの協力、適切な行動のお陰でロールプレイなども実施することができました。</p> <p>「今まで勉強したことを活用し、理解が深まった」「他者の意見がとても参考になった」「管理栄養士になりたいという気持ちが強くなった」等の意見をいただきましたので、今後の実習の参考にさせていただきます。</p>
栄養生理学	寛慎治	<p>栄養生理学は図を一目見ればわかるようなものではなく、自分の頭の中で新しい知識を整理し組み立てる作業が不可欠です。生理学に加えて栄養学、生化学の知識も必要になるため、易しい科目ではありません。アンケート結果を見ると、多くの学生さんに概ね理解していただけたようですが、よくわからなかったという意見もあり、今後さらに改善していくつもりです。なお、期末テストは予想を遥かに上回る結果で、不合格者はいませんでした。改善を希望する点については：</p> <p>プリントについては「スライドの解説を増やして欲しい；授業中にプリントに書き込めるようにして；もっと見やすく」等のリクエストが複数ありましたので、後期の解剖生理学bや来年の授業で取り入れる方向で検討したいと思います。</p> <p>オンデマンド・オンライン講義については、私の声が聞きづらいという苦情がありましたので、はっきりとしゃべるように心掛けたいと思います。また、対面移行後にもオンデマンドファイルをアップロードし続けたのは復習によかったと好評でしたので、今後も（コロナ後も）このスタイルは続けたいと思います。</p> <p>小テストの文章が長すぎるといった苦情もありました。確かに非常に長いものも多く、今後は可能な限り短縮する予定ですが、生命の複雑な「ことわり（理）」を理解していただくには、問題の背景の説明も必要なことがあるため、全ての問題を管理栄養士の国試のような短文に出来ないこともご理解下さい。</p>
基礎化学	山崎壮	<p>コロナ禍で第4回～第11回の授業をZoomによる映像配信授業とし、リアルタイム配信と録画授業配信によるオンデマンド授業の併用としました。昨年度もコロナ禍でオンライン授業でしたが、資料配付型（教員の肉声での説明映像はなし）のオンデマンド授業を行い、学生アンケートで不評だったので、今年度はZoom授業としました。</p> <p>授業方式としては、約50%が対面授業がよいとしている一方で、オンデマンド型＋双方向型＋オンデマンド型と双方向型の併用の合計も約50%でした。理由としては、対面授業による緊張感・集中力の保持を挙げる意見と、オンライン授業で録画授業をくり返し視聴できるメリットを挙げる意見が特徴的でした。</p> <p>授業内容に対しては、高校の復習ができた、高校の時よりも理解が深まったなどのプラス評価意見があった一方で、アンケート集計値からは、説明や配付資料が難しかった、この分野をさらに学びたいとは思わない、この授業で自分の成長が感じられなかったなど、マイナス評価が目立ちました。この1～2年間の入学生に占める文系（非理系）志向の学生の比率が確実に増加していることから、典型的理系科目である「基礎化学」に興味を持っていない学生がいることは当然の結果であると考えます。「基礎化学」を履修してみても自分はこの分野にはどうしても興味を持てなかったのであれば、それを素直に受け入れてよいと思います。化学に興味を持てなかったならば、自分が興味を持てるほかの領域を見つけ出し、その領域の勉強に自分のエネルギーを投入して行ってほしいです。1年生の時は、様々な科目を履修する中で、自分が興味を持てる領域と興味を持っていない領域を明らかにする時期と思ってほしいです。</p> <p>なお、皆さんからの授業アンケート回答に対する教員からのコメントをmanabaに収載しています。長文ですが、読んでいただけると嬉しいです。</p>
公衆衛生学 a	佐々木溪円	<p>回答者の約3割は、予習復習の時間が30分未満と回答しています。教科書を読むだけでなく、教科書で初めて知る単語やキーワードを調べて授業に出席したくなる工夫が必要と考えました。</p>
総合演習 d	森川希 山岸博美	<p>コメントありがとうございます。対面でもオンデマンドでもよい、対面のほうが良い、オンデマンドがよい、様々意見がありました。ですが、対面でしたらグループディスカッションを取り入れるなど、コロナ対策を講じつつ、工夫をしていきたいと思います。</p> <p>あと、プリントを事前に印刷配布できなくて、大変な思いをされた人もいたとのことで、申し訳なく思っています。今後は、印刷が難しい人への配慮もしていきたいと思います。（山岸）</p> <p>履修者の学習状況、授業内容・方法等は、管理栄養士専攻専門科目区分内の平均よりもやや高い得点でした。苦手の傾向である図表問題や、疫学への理解が深まったとの感想があり嬉しく思います。</p> <p>総合演習の目的は国家試験合格に限ったものではありませんが、様々なアプローチで問題を解くことを介して、各自が苦手分野を見つけ、結果的に得点が上げられるような工夫を今後も検討していきます。（森川）</p>
総合演習 a	松島照彦	<p>いろいろな側面で役に立ったようで良かったです。メディアは良い面も悪い面もあるようですね。時々マスクを外してしまっただけで済みませんでした。感染予防に気を付けます。</p>

[2021（前期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
栄養マネジメント実習	森川希	今年度は、全面的に対面授業を実施できました。ダグラスバッグによるエネルギー代謝の測定では、感染予防に配慮し各回の測定者数を限定して実施しました。 アンケート回答者において、「この授業を通して自身の成長が実感できましたか」の問いに対し「とてもよくあてはまる」「どちらかといえばあてはまる」がほとんどであったことは喜ばしい限りです。 また、エネルギー代謝の測定や食事調査実習、ケーススタディなど実践的な内容については、対面授業の意義が大きいことがわかりました。 授業資料の文字が小さいという指摘がありましたので、今後改善していきます。 実習レポートの考察は難しかったと思いますが、管理栄養士として将来必要な思考力を身に付けられるよう、今後も実習内容を工夫していきます。
食品衛生学 a	大道公秀	分析結果をみたところ理解度・満足度ともにおおむね良好であったと見受けました。オンデマンド授業・対面授業の両方ともに好意的な意見も寄せられました。オンデマンド授業の場合は対面の良さをオンデマンドに加え、対面授業のときはオンデマンドの良さを加えるような授業展開も模索したいとも思いました。具体的には教育コンテンツをアップしながら、自主的な学びを促す工夫をしてみたおも考えました。
食品加工学実習	守田和弘	実習おつかれさまでした。総合的な満足度が全体平均より高いことから、満足いただけただけのものと思います。
食品加工学 a	守田和弘	新型コロナウイルスの影響によりオンデマンド型の授業となりましたが、総合的な満足度は全体平均に近いことから、概ね満足して学習いただけたものと思います。
栄養教育各論 a	辛島順子	「栄養教育各論a」では、管理栄養士が栄養教育や栄養指導を行う際に重要な行動科学理論やカウンセリングについてを中心に学びました。一部はオンデマンド型の講義となり、理解が難しい理論もありますので、可能な限り具体的な事例などを交えて解説を行いました。 事例を取り入れたことにより、「理解しやすい」「頭に入りやすい」という回答につながったと考えており、今後も可能な範囲で、具体的な内容を組み込んでいきたいと考えています。 3年次の「栄養教育論実習a」においては、「栄養教育各論a」で学んだ理論を中心に実習を行います。これらの学びを総合して、今後の臨地実習でさらに理解を深めてください。
栄養マネジメント論	高橋加代子	オンデマンドだとあまり理解が深められない部分があった。対面授業で先生の口頭での補足説明などが一番分かりやすいと感じたため。 その通りだと思います。直接、口頭で必要な部分は強調しながら、難しい言葉を説明して、理解しやすいように授業を進めたいと思います。 今後も改善しながら、分かりやすい授業を目指します。
給食マネジメント実習	山岸博美	実習時は、朝早くから大変だったかと思います。後期は、皆さんの立案した献立で行います。引き続き一緒に頑張りましょう。
公衆栄養学実習 b	佐々木溪円	COVID-19の影響により、保健所間で実習内容の差が生じてしまいすみませんでした。行政栄養士に興味がある方は、COVID-19の患者数が減少した時期に地域の保健所で見学受け入れをしてもらえる場合がありますので、ご相談ください。 また、校内授業と保健所での説明が異なるという意見がありましたので、どのような点か教えていただけると助かります。
健康管理論	佐々木溪円	教科書がないという慣れない授業形式で大学の授業を受けてもらいましたが、筆記試験の結果をみますと、皆さんの知識は大きく向上しています。今後も、保健医療福祉の専門職を目指して学修を続けていきましょう。
特別講義 a	中村彰男	何人かの学生さんから国試に沿った講義をしてほしいという要望がありましたが、人体の構造と疾病や基礎栄養学は多くの分野とリンクしており、研究の歴史などを含めて理解することで幅が広がり、国試への合格にも近づくと考えます。予備校の講義ではないので大学での講義である事も理解していれば身につくことも多かったと思います。覚えることや問題を繰り返し行うことも大切ですが、それだけでは応用力ばかりでなく基礎力も養えません。1年生の初めに皆さんが学修した部分で、忘れていることもあり、前期は国試勉強の為にもう一度、掘り返して講義をおこなったつもりです。わからなければ何時でも聞きに来れば教えますので、遠慮無しに来て下さい。後期も頑張りましょう。
臨床栄養学 a	松島照彦	対面の方が良かったという声が多く聞かれました。後期はできる限り対面でできればと思います。
健康管理論	佐々木溪円	教科書がないという慣れない授業形式で大学の授業を受けてもらいましたが、筆記試験の結果をみますと、皆さんの知識は大きく向上しています。今後も、保健医療福祉の専門職を目指して学修を続けていきましょう。

〔2021（前期）食生活科学科 管理栄養士専攻〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生化学 a	中村彰男	皆さんがとてもよく勉強していただいたので、試験も平均点はとても良くて私は嬉しかったです。生化学は日常生活にもとても深く関わっているので覚えるよりも理解することに勤めて下さい。わからないことがあれば何時でも聞きに来て下さい。後期も頑張りましょう！
スポーツ栄養学 a	奈良典子	アンケートへのご回答有難うございました。皆さんからの貴重な意見を今後反映していきたいと思えます。
ライフステージ栄養学 b	於保祐子	コロナの状況により対面またはオンデマンド授業と変更がありましたが、オンデマンドは講義録画受講として、どの形式の授業を受けてもほぼ同じように学修できるように心がけました。授業資料と要点まとめのプリントをmanaでも配布して、授業中のノートテイクに活用する事で集中して学修できるように工夫しました。授業録画は復習にも使っていただけて学修が深まったようで良かったです。4年生には総合演習があります。しっかり積み上げてゆきましょう。
臨床栄養管理実習	高橋加代子	献立の冷凍野菜や乾物について使用できるものを表などにしていただけるとより分かりやすく、勉強にもなったのではないかと思います。との意見をいただきましたが、大学生ですので、教員からすべて与えられるわけではなく、必要な資料は自分で作成することは必要ですし、成長できると思えます。資料作成には、今後も見直しを図っていきます。
臨床栄養管理学総論	高橋加代子	オンデマンド中の授業資料の印刷の希望がありました。気づかずすみません。対面時に直接申し出てくれると有難いですね。それ以外の大きな問題の指摘はないようですが、今後もわかりやすく授業を目指します。
給食経営管理 b	山岸博美	今年度は、対面とオンデマンド、リアルZoomと混在した形になり、混乱した時もあったのではないかと、反省しています。ただ、やはり、オンデマンドやZoomより、対面のほうが、緊張感があってよい、という意見も多々ありましたので、今後も対面の良さが出る授業にしていきたいと思えます。また、今回は、授業終了後に、授業で使用したPPTを資料としてコンテンツに掲載しました。私の希望としては、授業中や予習にテキストも活用してほしいし、ノートも取ってほしいので、授業PPTは、復習に活用してほしいという思いがあります。ただ、事前にほしいという意見もありましたので、これについては、今後検討していきたいと思えます。
臨床栄養学実習 b	松島照彦 高橋加代子	この授業は、臨地実習に関する授業になりますが、調理実習に関するコメントがありましたので、授業の種類を誤解されているのではないかと思います。今後も、校外実習に行くために、学生の皆さんに役立つ内容を進めたいと思えます。
公衆栄養学 b	森川希	履修者の学習状況は、管理栄養士専攻専門科目区分内で平均的な得点でした。「この授業をどれくらいの割合で理解できましたか」の問いに対して、ほとんどの方が「十分に理解できた」「まあまあ理解できた」「ほぼ理解できた」いずれかの回答されていました。双方向とオンデマンドの組み合わせ方式は概ね好評だったようです。例年ですと、マイクの声が聞き取りにくいことがあったり、パワーポイントの送りが速いといった意見が出ることもあったのですが、スライド資料を配信したり、録画動画を配信したことでこれらが解消されたようです。要望としては、授業資料を早めに公開してほしいというものがありました。予習用のプリントは印刷配布していましたが、スライド資料についてもできるだけ早めの公開を心がけます。今後も、授業形態に関わらず皆様が学修をすすめやすいよう、工夫していきたいと思えます。
校外給食実習	富重慶子 山岸博美	今年度も、コロナの影響でなかなか円滑に実習が行えないこともありますが、引き続き皆さんの実習のため取り組みます。
食品学 b	松岡康浩	似たような成分名など暗記すべきことが多いですが、繰り返し復習することが肝要です。
食品機能論	松岡康浩	生理学など他の教科と連携して学習を進めてください。

[2021（前期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
解剖生理学 a	寛慎治	<p>解剖生理学aも、図を一目見ればわかるものではなく、易しい科目ではありませんが、アンケート結果を見ると、多くの学生さんに概ね理解していただけたようで、さらに積極的に学修を進めている様子もうかがえてほっとしました。期末テストも予想を遥かに上回る結果で、不合格者はいませんでした。しかしいくつかのリクエスト（後述）もいただいており、今後さらに改善していくつもりです。</p> <p>改善を希望する点については： プリントについては栄養生理学と同様に「スライドの解説を増やして欲しい；授業中にプリントに書き込めるようにして；もっと見やすく」等のリクエストが複数ありましたので、後期の解剖生理学bや来年の授業で取り入れる方向で検討したいと思います。</p> <p>オンデマンド・オンライン講義では、やはり私の声が聞きづらいという苦情がありましたので、はっきりとしゃべるように心掛けたいと思います。また、対面移行後にもオンデマンドファイルをアップロードし続けたのは復習に便利と好評でしたので、今後も（コロナ後も）このスタイルは続けたいと思います。</p> <p>講義の終盤で、ふり返りのなまとめの要素を入れたのがよかったというコメントもいただいており、今後もこのスタイルを取り入れたいと思います。</p> <p>栄養生理学と同様に小テストの文章が長すぎるという苦情もありました。確かに非常に長いものも多く、今後は可能な限り短縮する予定ですが、生命の複雑な「ことわり（理）」を理解していただくには、問題の背景の説明も必要なことがあるため、全ての問題を管理栄養士の国試のような短文に出来ないこともご理解下さい。</p>
生化学 a	中村彰男	<p>皆さんがとてもよく勉強していただいたので試験も平均点はとても良く嬉しかったです。生化学は日常の生活にもとても深く関わっているのが覚えるよりも理解することに勤めて下さい。わからないことがあれば何時でも聞きに来て下さい。後期も頑張りましょう！</p>
微生物学	守田和弘	<p>新型コロナウイルスの影響によりオンデマンド型の授業となりましたが、総合的な満足度は全体平均より高いことから、概ね満足して学習いただけたものと思います。</p>
臨床栄養管理学総論	高橋加代子	<p>個別指導が公開されていないとの意見があり、研究室に行くことになりとても不便だった、との意見がありました。個人指導コレクション等での設定を確認し、質問できる体制を整えることを気をつけます。</p>
総合演習 c	於保祐子 高橋加代子	<p>教室があまり授業向きではなくて申し訳なかったです。授業は対面でもオンデマンドでも同様に学修できるように工夫しました。応用栄養学の知識を有機的に結びつけて実際に使えるものにできればと思い授業を行いました。</p>
基礎栄養学	中村彰男	<p>基礎栄養学を楽しんで勉強できて良かったです。とても皆さんが試験を頑張ってくれたので1人も不合格者を出さなくて済んだばかりでなく非常に平均点が良くて私は嬉しかったです。この調子で後期も頑張りましょう！</p>
調理学実験	数野千恵子	<p>当該科目の評価は全体平均よりも高く、授業の大まかな流れは継続する予定である。この実験授業を通して、実際の調理操作中に生じる様々な現象は、科学的に説明できものであることを理解し、今後の調理実習や座学で、さらに理解を深めてください。</p> <p>日常の調理でも「なぜ？」の疑問を持って、考える態度を意識してみてください。</p> <p>なお、実験の結果の考え方、そこからの考察、レポートの書き方については、それぞれの授業で、コメントをしたつもりであったが、十分に理解できていない学生がいたことから、次年度はマナバなどを使用してのフィードバックを考えてみるつもりである。</p>
基礎栄養学実習	松島照彦 中村彰男	<p>松島から：少しわかりにくいがあったかもしれませんが。次の学年からは分かりやすいようにしたいと思います。体の中で何が起きているか、消化で何がどのような働きをしているか、仮説を立て、実際にやってみて、考察をする、というプロセスが身に着けば良いと思います。</p> <p>中村から：ラボノートはプロトコルをただ書き写すだけの作業ではないので、とても大切だと言うことが上手く伝わらなくて残念でした。もう少し、その重要性を後期の生化学実験では伝えたいと思います。助手さんは事故が起きないように皆さんのことを心配して対応してくれています。ただ、注意などが少し高圧的に思えた学生さんも多いことから少し口調に関して気をつけて貰うようにしたいと思います。実験は基本的には多くのことを楽しく学べた方がよいので、今後とも工夫を凝らしながら改善して行きたいと考えています。</p>
臨床栄養学 a	松島照彦	<p>オンデマンドが良い、対面の方が良かったと様々な声が聞かれました。後期はディスプレイがみやすい教室に換えてもらおうと思います。過去問では同じ問題が何回も出てきますが、何を聞かれるのかの整理と違って取り組んでください。</p>